

# 第64期 第2四半期決算のご報告

2021年4月1日から2021年9月30日まで

## 株主通信

### CONTENTS

- 1 株主の皆様へ
- 2 トピックス
- 3 セグメント別業績
- 5 連結決算ハイライト
- 7 四半期連結財務諸表
- 9 会社の概要



株式会社 丸順

証券コード：3422

## 株主の皆様へ

## ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、このたび当社第64期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）を終了いたしましたので、営業概況及び第2四半期決算のご報告を申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2021年11月

代表取締役 社長執行役員 **齊藤 浩**

## 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスワクチンの普及や治療薬の開発により、活動制限の緩和が進んだものの、変異株による感染再拡大や半導体供給不足等の懸念材料を抱えており、依然として先行き不透明な状況が続いております。米国では、ワクチンの普及に伴う活動制限の緩和により、個人消費が回復し、景気は堅調さを維持しております。欧州では、景気は依然として厳しい状況にあるものの、活動制限の段階的な緩和を背景に、個人消費等に持ち直しの動きがみられます。中国では、米中貿易摩擦及び米国の金融政策等の影響を受け、成長ペースは鈍化しつつあるものの、堅調な内需に牽引され、景気回復が持続いたしました。日本では、ワクチン接種の進展に伴う活動制限の緩和や諸外国の経済回復等を受け、景気は緩やかに持ち直しております。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、前年同四半期比の生産が持ち直しの傾向にあるものの、変異株による感染再拡大やワクチン接種の遅れ等、依然として先行き不透明な状況にあります。中国では、半導体供給不足及び原材料価格の高騰等の影響を受けたものの、政府による消費刺激策に支えられ、新エネルギー車市場は成長を遂げるなど、市場環境は好調に推移いたしました。しかしながら環境規制の強化に伴う電力制限等の懸念材料を抱えており、依然として先行き不透明な状況にあります。日本では、半導体供給不足及び東南アジアの感染拡大による部品供給不足を受け、各自動車メーカーが相次いで減産するなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の4年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20,449百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。利益面では、半導体供給不足等による減産影響を最小限に留めるため、原価低減活動を推進したものの、前年同四半期に一時的な増益要因があったことにより、営業利益は1,420百万円（前年同四半期比18.0%減）、経常利益は1,318百万円（前年同四半期比15.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は745百万円（前年同四半期比24.8%減）となりました。

また、当期の中間配当は、1株につき6円とさせていただきます。期末配当につきましては1株につき6円を予定しております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

# トピックス

Topics  
1

## タイ丸順 DSSTよりインフレーター部品受注

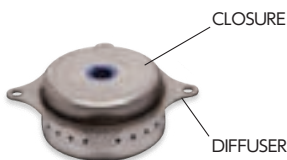
タイ丸順社（以下、TMC）は、株式会社ダイセルの子会社であるDaicel Safety Systems (Thailand) CO.,Ltd.（以下、DSST）より自動車のエアバックの始動装置であるインフレーターを構成する部品（CLOSUREとDIFFUSER）を受注いたしました。当該部品は、主にタイ国内での販売及びインド市場向けに輸出されます。

インドにおけるエアバック装備は今までオプションとされておりましたが、運転席においては既に義務化されており、2021年12月に助手席の装着が義務化される予定です。近年、インドのみならず東南アジアにおいて自動車の安全装備に関する市場の要求が高まっていることから、TMCは全力でDSSTからの受注獲得に取り組んでまいりました。

この度の受注を機に、今後東南アジア全域への安全装備部品の更なる受注拡大を目指してまいります。



インフレーター設置位置  
イメージ図



インフレーター イメージ図

Topics  
2

## 広州丸順 CATLより新たに量産部品受注

広州丸順社は、車載用電池市場において世界トップシェアを誇る寧徳時代新能源科技股份有限公司（以下、CATL）と、2021年7月より量産取引を開始しておりますが、この度、新たに量産部品を受注いたしました。

これまでの量産実績、技術開発力及びコスト対応力が評価され、2部品目の受注につなげることができました。当該部品は、自動車のアイドリングストップ時の二次電源に関わる重要な部品であり、今後の中国における電動車市場拡大に伴い生産をいたします。

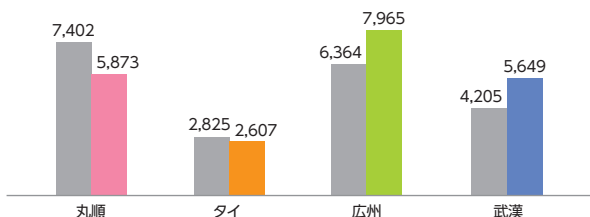
今後、中国市場だけでなく、世界規模で拡大する電動車需要を取り込み、当社グループ戦略事業である電動化部品事業の更なる強化を図るため、CATLとの関係をより強固にし、引き続き積極的に受注拡大を図ってまいります。

## セグメント別業績

## セグメント別売上高 (第2四半期)

(単位: 百万円)

■ 2021年3月期 ■ 2022年3月期



## 丸順

【株式会社丸順】

## 減収減益

丸順においては、要員適正化や生産性の改善に伴う労務費を中心とした原価低減活動を推進したものの、半導体供給不足と東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大に伴う部品供給不足の影響による主要客先の減産及び生産車種構成の変化に加え、金型設備等の販売が減少したこと等により、売上高、利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,873百万円(前年同四半期比20.6%減)、経常利益は614百万円(前年同四半期比46.0%減)となりました。

## タイ

【タイ・マルジュン社】

## 減収減益

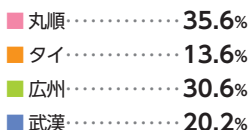
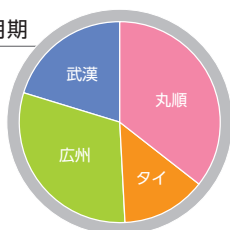
タイにおいては、主要客先の輸出向け自動車部品の減産及び金型設備等の販売の減少に加え、前年同四半期は量産車種終了に伴う金型投資費用の未回収分の回収による一時的な売上高増加要因があったこと等により、売上高は減少いたしました。なお、構造改革に伴う労務費等の固定費削減を推進したものの、売上高減少の影響が大きく、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,607百万円(前年同四半期比7.7%減)、経常損失は103百万円(前年同四半期は13百万円の経常損失)となりました。

## 〈セグメント別売上高構成比率〉

2021年3月期

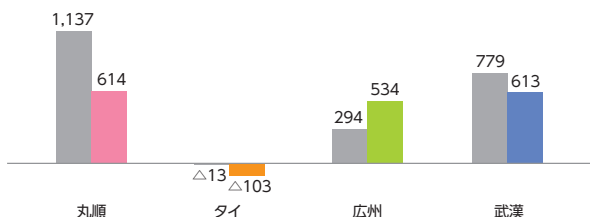
第2四半期



## セグメント別経常損益 (第2四半期)

(単位：百万円)

■ 2021年3月期 ■ 2022年3月期



### 広州

【広州丸順汽车配件有限公司】

#### 増収増益

広州においては、半導体供給不足影響に伴う主要客先の減産があったものの、新型コロナウイルス影響からの回復により売上高が増加したことに加え、購入費及び労務費等の原価低減活動を推進したこと等により、売上高、利益ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は7,965百万円（前年同四半期比25.1%増）、経常利益は534百万円（前年同四半期比81.6%増）となりました。

### 武漢

【武漢丸順汽车配件有限公司】

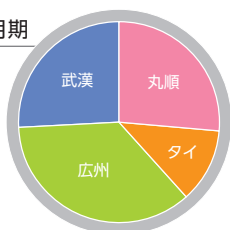
#### 増収減益

武漢においては、半導体供給不足影響に伴う主要客先の減産があったものの、新型コロナウイルス影響からの回復により売上高は増加いたしました。なお、業務効率化による要員適正化等の原価低減活動を推進したものの、前年同四半期は量産車種終了に伴う金型投資費用の未回収分の回収があったこと等により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,649百万円（前年同四半期比34.3%増）、経常利益は613百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

2022年3月期

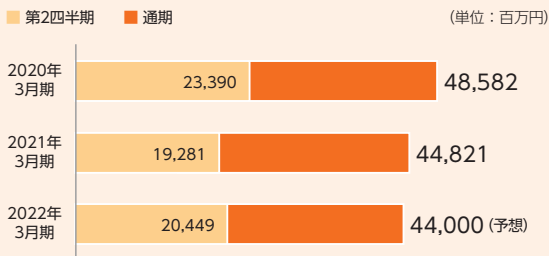
第2四半期



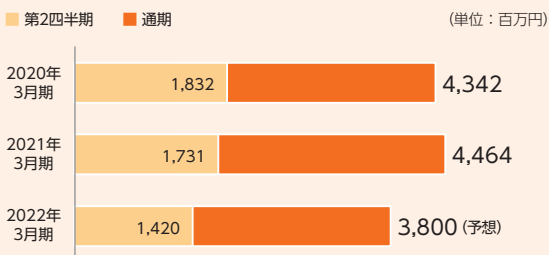
■ 丸順	26.6%
■ タイ	11.8%
■ 広州	36.0%
■ 武漢	25.6%

## 連結決算ハイライト

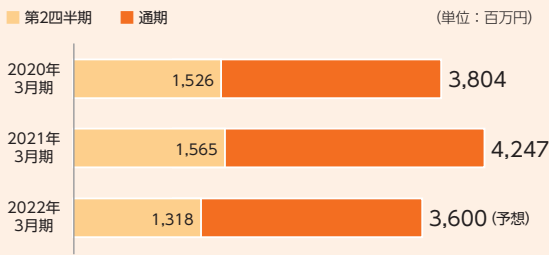
## 売上高

20,449百万円 ● 前年同四半期比 

## 営業利益

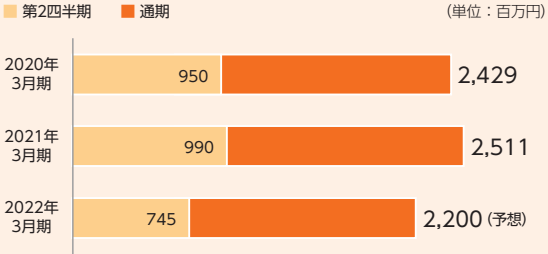
1,420百万円 ● 前年同四半期比 

## 経常利益

1,318百万円 ● 前年同四半期比 

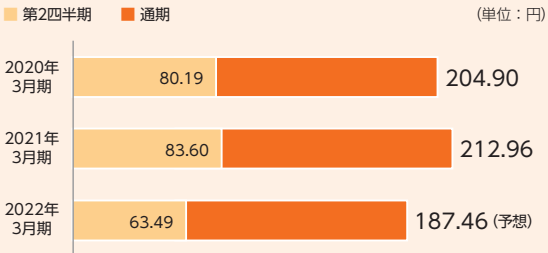
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

745百万円 • 前年同四半期比 ↓



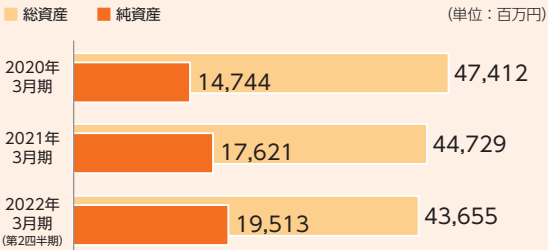
## 1株当たり親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

63.49円 • 前年同四半期比 ↓



## 総資産・純資産

43,655百万円 • 19,513百万円

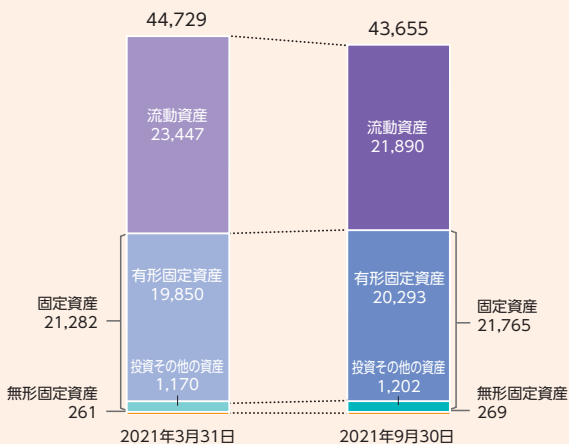


## 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

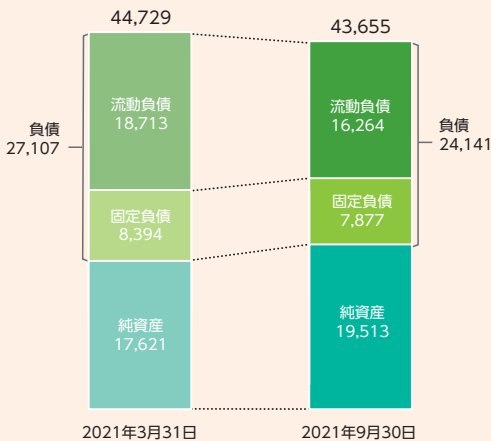
## 資産の部

(単位：百万円)



## 負債・純資産の部

(単位：百万円)

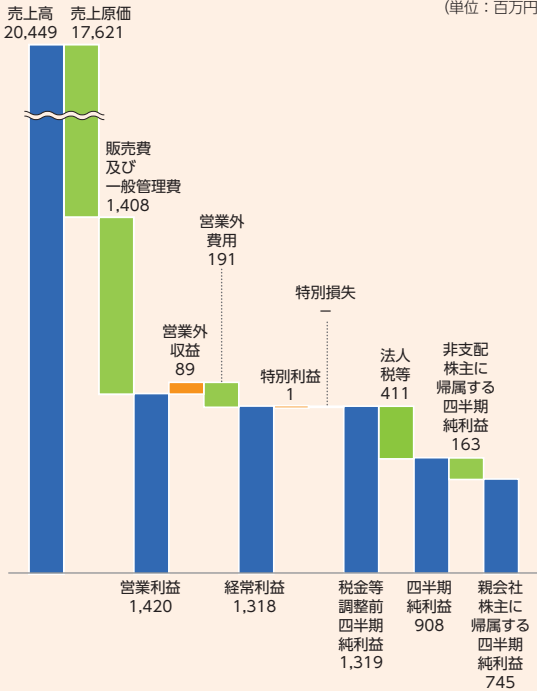




## 四半期連結損益計算書 (要旨)

2021年4月1日～2021年9月30日

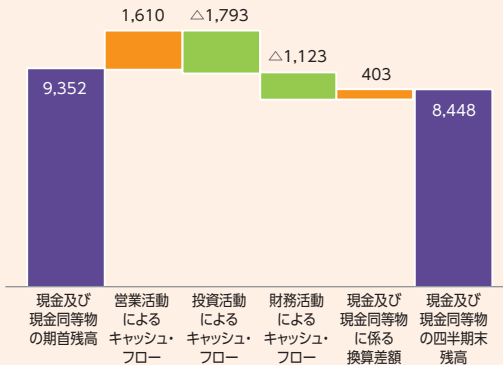
(単位：百万円)



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

2021年4月1日～2021年9月30日

(単位：百万円)



# 会社の概要 (2021年9月30日現在)

## 会社概況

### 商号

株式会社 丸順  
(英文社名: MARUJUN CO., LTD.)

### 創業

1952年7月

### 設立

1960年1月

### 資本金

1,950百万円

### 事業内容

自動車用車体プレス部品の製造  
自動車用精密プレス部品の製造  
各種金型の設計・製作  
治具・検査具の設計・製作

### 従業員数

326名 (連結1,998名)

### 電話番号 (代表)

0584-46-3191

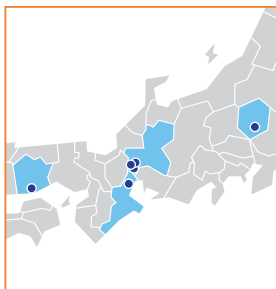
## 取締役・監査役

代表取締役社長執行役員	齊藤 浩
取締役常務執行役員	青山 秀美
取締役常務執行役員	猪熊 篤俊
取締役上席執行役員	山崎 英次
取締役	露木 好則
取締役(社外)	竹内 治彦
取締役(社外)	柳澤 民紀
取締役(社外)	大倉 睦美
常勤監査役	堀田 政道
監査役(社外)	馬淵 仁
監査役(社外)	水谷 博之

### 取締役を兼務しない執行役員

上席執行役員	松井 恒夫
上席執行役員	棚橋 哲郎
執行役員	森 和行
執行役員	小見山 肇
執行役員	山口 忠美

## 事業拠点



### 本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

### 浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

### 養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

### 鈴鹿工場

三重県鈴鹿市国府町7755

(株式会社日本陸送内)

### 栃木開発センター

栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40

とちぎ産業交流センタービル202号室

### 岡山駐在事務所

岡山県倉敷市神田1-5-22

### 広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市  
広州経済技術開発区永和経済区  
永盛路8号

### 武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市  
東湖新技術開発区光谷一路223号

### タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN  
NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG  
KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

### ベストテックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,  
DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

## 株式の状況

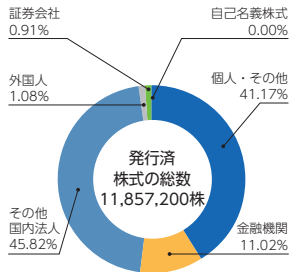
### 株式数及び株主数

発行可能株式総数  
39,000,000株

発行済株式の総数  
11,857,200株  
(自己株式289株含む)

株主数  
1,840名

## 株式数構成比

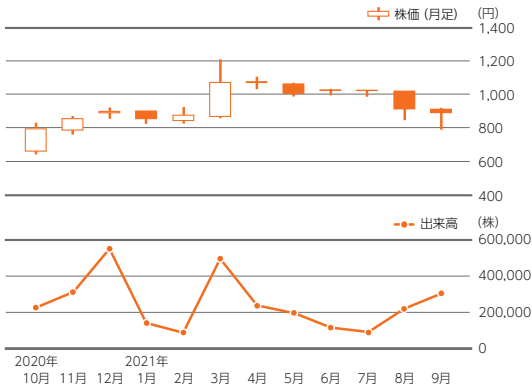


## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
東プレ株式会社	2,370,700	19.99
今川 喜章	1,022,770	8.63
本田技研工業株式会社	988,950	8.34
太平洋工業株式会社	463,950	3.91
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.13
今村金属株式会社	343,400	2.90
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	2.74
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	311,900	2.63
丸順取引先持株会	307,600	2.59
株式会社大垣共立銀行	300,000	2.53
有限会社イマガワ	300,000	2.53

(注) 当社は、自己株式289株を保有しております。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株価チャート



※ 当社は2021年3月12日付で東証二部へ上場しております。  
2021年3月12日以降は東証二部における実績にて算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



### ホームページ

決算情報をはじめとするIR情報から技術の紹介など様々な会社情報を随時更新・掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

当社ホームページURL

<https://www.marujun.co.jp/>



株式会社 丸順



本株主通信は、環境保全のため「植物油インキ」で印刷しています。